平成17年度 都市景観大賞「美しいまちなみ賞」

受賞地区の概要

「都市景観の日」実行委員会

都市景観大賞「美しいまちなみ賞」について

都市景観大賞「美しいまちなみ賞」は、美しいまちなみを創り、育てるために、公民が協力し、ハードとソフトを含めた総合的な取り組みが行われている地区を全国から募集し、その中でも特に優れた地区について表彰を行い、広く国民に紹介していくことにより、より良い都市空間の形成を目指すものです。

【対象地区の要件】

次の二つの要件に該当する地区を対象とします。

- (1) 地方公共団体(市町村又は特別区)と市民等が協力し、街路や公園等の公共空間と建築物等による民有空間を一体とした美しいまちなみが整備されていること。建築物等の規制・誘導、電線類の処理、広告物の整序などが考慮されており、あわせて沿道景観等にも配慮した道路等の公共施設の整備が行われていること等。
- (2) まちなみの維持・保全に係わる NPO 等のまちづくり組織等*¹が設立され、適切に管理・運営がなされるとともに、まちなみが十分に活用され、地域の活性化が図られていること。

【審査と表彰】

都市景観大賞「美しいまちなみ賞」審査委員会において、応募図書等をもとに、まちなみの整備や維持、保全に関する活動の新しさ、独創性、模範性などのほか、地域再生、都市再生や観光交流面でのアピール性等を審査した上で、下記の3つの賞を選定します。

① 美しいまちなみ大賞・・・・国土交通大臣による表彰

② 美しいまちなみ優秀賞 ・・・(財)都市づくりパブリックデザインセンター会長による表彰

③ 美しいまちなみ特別賞・・・・(財)都市づくりパブリックデザインセンター理事長による表彰

【都市景観大賞「美しいまちなみ賞」審査委員会 委員名簿】

委員長 中村 良夫 東京工業大学 名誉教授

委 員 岩渕 潤子 慶応義塾大学 教授

加藤 源 都市プランナー

岸井 隆幸 日本大学 教授

輿水 肇 明治大学 教授

富田 玲子 建築家

松葉 一清 建築評論家

面出 薫 照明デザイナー

山岡 義典 日本 NPO センター副代表理事/法政大学教授

国土交通省 都市・地域整備局 都市計画課 課長

国土交通省 都市·地域整備局 市街地整備 課長

(順不同、敬称略)

平成17年度 都市景観大賞「美しいまちなみ賞」受賞地区

「美しいまちなみ大賞」

地 区 名	応 募 者
小坂町明治百年通り地区	・フラワーボランティアの会・秋田県小坂町
富山市八毫地区	·有限責任中間法人八匠 ·富山市
三島市街中がせせらぎ事業地区	・特定非営利活動法人グラウンドワーク三島 ・静岡県三島市 ・三島商工会議所
倉吉市打吹地区	・打吹地区歩行ネットワークを考える会・鳥取県倉吉市

「美しいまちなみ優秀賞」

地 区 名	応 募 者
成田市上町地区	・上町街づくり協議会・千葉県成田市
静岡市宇津ノ谷地区	・宇津ノ谷地区美しいまちづくり協議会 ・静岡市
大洲市肱南地区	・大洲市町並みイベント実行委員会 ・愛媛県大洲市

「美しいまちなみ特別賞」

地 区 名	応 募 者
さいたま市北部拠点宮原地区	・さいたま市北部拠点宮原地区まちづくり協議会 ・さいたま市 ・独立行政法人都市再生機構 ・スバル興産株式会社

【審查委員長 中村良夫 東京工業大学名誉教授 総評】

大賞を受賞した4件はいずれも町並みデザインの歴史のなかで新境地をしめす力作であった。とくに 目立ったのは市民組織の力とそのユニークな活動である。

郷愁をさそう「おわら風の盆」で知られた八尾地区は、町並みの美しさだけでなく井田川に面した斜面を仕切る石垣の美しい町である。地元の大工、工務店、建築事務所などで構成する有限責任中間法人八匠という専門家集団が町並みの保存と創造に果たす役割は今後の街づくりにおおきなヒントになるだろう。

倉吉は第三セクターの株式会社「赤瓦」による伝建地区内の空き店舗を活用した商業の活性化がきわだっている。また火災跡地を利用した街づくり防災拠点「くら用心」のアイデアもすばらしい。

湧水の源兵衛川で知られた三島市は、清流のネットワーク化を中心にした本格的町並みづくりにのりだした。これを推進する 21 にのぼる市民団体からなる特定非営利活動法人グラウンドワーク三島の働きは力強い。

小坂鉱山の旧鉱山事務所や康楽館などの文化財をちりばめた小坂町の「明治百年通り」は、アカシア 並木や花壇あるいは新しい建築やストリートファーニチュアなどによって、景観を大事に育ててきた市 民の見識と品格を感じさせる稀な例である。

全体として、やはり歴史的町並みが多く、新しい都市ではわずかにさいたま市の北部拠点宮原地区が 目立っただけであった。今後の問題であろう。

美しいまちなみ大賞

めいじひゃくねんどお

明治百年通り地区

所 在 地 地区面積 応 募 者 秋田県鹿角郡小坂町 約7. 1ha フラワーボランティアの会 小坂町



▲ 歴史的建造物が建ち並び、アカシア並木や煉瓦歩道など、明治の ハイカラなイメージで統一されている。



▲ 小坂鉱山の隆盛を象徴する洋館、旧小坂鉱山事務所。明治38年創建で、平成14年、国指定重要文化財指定。



▲ フラワーボランティアの会による花苗の植え付け作業の状況。

<地区の概要>

秋田県小坂町は、小坂鉱山の開発によって、明治から昭和にかけて栄えた町である。

小坂町の中心市街地に位置する明治百年通り地区には、国指定 重要文化財である『康楽館』や『旧小坂鉱山事務所』、また国登録有形文 化財である『小坂鉱山病院記念棟』や『天使館』などの歴史的建造 物が建ち並び、アカシア並木や煉瓦歩道とともに、明治のハイ カラなイメージで統一された景観が形成されている。

町内外の有志や企業ボランティアから構成する「フラワーボランティアの会」によって、花壇の増設や看板設置、花の植栽、管理など、通りの美化活動が実施されている。



▲ 現地現存では日本最古の芝居小屋の康楽館。明治43年竣工で、 平成14年、国指定重要文化財指定。



▲ 鉱山従業員子弟の幼児教育機関であった天使館。昭和7年竣工で、 平成15年国登録有形文化財指定。



▲ 通りの街灯に新設されたフラワーハンギングバスケット。町内外からの協賛による。

美しいまちなみ大賞

やつお

八尾地区

所 在 地 地区面積 応 募 者 富山県富山市 約100.0ha 有限責任中間法人八匠 富山市



▲ 諏訪町本通りの沿線を望む。石畳舗装等、街路整備がなされ、 沿道建築物のファサードなどが改築済み。



▲「おわら風の盆」の町流しでは、石畳舗装が情緒ある雰囲気を 醸し出している。



▲「坂のまちアート」では、通りや家の軒先を利用して、工芸品などが展示されている。

<地区の概要>

八尾地区は、「おわら風の盆」で有名な旧八尾町の中心市街地に位置する。 地区の中心を通る諏訪町本通りが昭和61年に「日本の道100選」に選定 されたことを機に、行政・民間組織・地区住民が一体となって、地区固有の町並 み再生に取り組まれてきた。

行政による公共空間の石張舗装、無電柱化、石垣景観の保全のほか、この地域の大工棟梁、工務店、設計事務所で組織された「有限責任中間法人八匠」による、伝統工法を用いた家づくりが進められてきた。また、地域住民が率先して軒先に花や緑を提供するなど、町並みの美化に協力している。

「曳山祭り」、「おわら風の盆」をはじめ、町並みを活用した各種イベントの 実施により、観光客も増加している。



▲町並みの要所々々に、自然石を基調としたポケットパークが 整備され、憩いの場となっている。



▲ 道路側溝は自然石で整備した。また、豊富な水を利用して水車を 設置し、潤いのある景観整備を行った。



▲ 禅寺橋より今町周辺を望む。石垣景観保全で整備され「坂の町八尾」を 象徴している。

美しいまちなみ大賞

まちじゅう

街中がせせらぎ事業地区

所 在 地 地区面積 応 募 者 静岡県三島市 約128ha 特定非営利活動法人グラウンドワーク三 島

<地区の概要>

街中がせせらぎ事業地区は、三島市の中心市街地に位置し、街中には源兵衛川をはじめ、いずれも湧水を水源とする河川が5本流れている。昭和40年代に枯渇した河川であるが、市民・企業・行政が協働で綺麗な

昭和40年代に枯渇した河川であるが、市民・企業・行政が協働で綺麗な水の流れを取り戻し、街中に水と緑と文化のネットワークを形成し、歩行者が回遊して楽しめる快適な市街地へと変貌を遂げている。

この取組みの中心的役割を果たしているのが、まちづくりや環境に関わる21の市民団体から構成される「特定非営利活動法人グランドワーク三島」であり、市民や企業とのコミュニケーション、行政との調整をしながら、身近な環境改善・景観形成活動を展開し、具体的な成果をあげて



▲湧水の流れる源兵衛川。親水遊歩道を設置。

三島市



▲ 伊豆箱根鉄道三島田町駅は溶岩の隙間から水が流れる仕掛けな どにより、潤いの場所となった。管理は伊豆箱根鉄道が行って



▲ 簡易水道の水源池を市が購入し、暗渠であった四ノ宮川を上下の 水路とし、上部には湧水の綺麗な水を流した。近隣住民が清掃活動 を行っている。



▲ NPO法人グラウンドワーク三島に委託し整備した「ほたるの里」。 管理は住民が行う。



▲三島商工会議所が設置し、維持管理している"めぐみの子"。 市内には民間と協働の水の仕掛け多く設置されている。



▲ JR三島駅南口で清掃する里親(アダプトプログラム)。近隣企業も「綺麗にする会」を結成し、清掃業者に委託し協働で美化している。

所 在 地 地区面積 応 募 者 鳥取県倉吉市 約150ha 打吹地区歩行ネットワークを考える 会 倉吉市



▲ 主屋は連続する3棟の建物からなっていて、西側の棟は明治初期で、 東側の棟は大正初期の建築物である。現在も醤油の醸造、販売所 として使用。



▲土蔵群に平行して玉川が流れる。右側は赤瓦一号館。



▲ 大正初期に米屋として建築された建物。倉吉の町屋に共通する 平入り瓦葺き二階建てで、外観は質素な造りだが内部は素晴ら しい。特に中の間に設けられた渡り廊下の空間構成に贅沢さを

<地区の概要>

倉吉市の中心市街地に位置する打吹地区は、かつて栄えた明治・ 大正時代の商家のまちなみを残し、その一部が国の重要伝統的建造物 群保存地区に選定されている。

こうした歴史的まちなみ環境の保全・修復とともに、第三セクター「赤瓦」による歴史的建物の利活用等が進められ、また道路にはカラー舗装、案内板、ストリートファニチャー等を設置するなど、観光客に楽しんでもらえる空間づくりが実施され、観光客も増加している。

地元の各種団体等が集まって組織された「打吹地区歩行ネットワーク を考える会」を中心に、来訪者がまちを歩いて楽しめるようカラー舗 装化、案内板の設置、ストリートファニチャーの整備等が推進されて



▲明治中期頃の建立と推定される江戸期の形式から本二階建てへ と変化していく、当時の町屋建築である。現在酒販店として 使用されており、隣の土蔵は「赤瓦三号館」として利用される。



▲明治14年に国立第三銀行倉吉支店として建てられた擬洋風建築。 幾つかの金融機関を経て、昭和38年までは山陽合同銀行として 使われていた。(国登録有形文化財)



▲往時の面影をとりもどした玉川沿いの風景。

美しいまちなみ優秀賞

成田市上町地区

所 在 地地区面積 応 募 者

千葉県成田市 約300m 上町街づくり協議会 成田市



▲ 沿道建物のセットバックが完了した区間では、電線類の地中化 やストリートファニチャーの設置等により、快適な歩行と青空が広 がる。



▲ セットバック事業を終え、環境整備が進んだ沿道(写真右方向) サイン(干支)と置石でリズムを作る。



▲ 和風に統一したファサードが人力車・祭り装束とマッチして、車上の女の子の表情がほほえましい。

<地区の概要>

成田市上町地区は、成田山新勝寺の表参道の中間点に位置し、門前町ならではの歴史的風情、独特な街並み景観を形成している。

参道沿いの商店主、地区住民等で組織された「上町街づくり協議会」が主導して、行政との協働により、沿道建物の2mセットバックによる歩行空間の拡大・くつろぎ空間の整備、電線類地中化事業等を進めるとともに、沿道建物のファサードに白壁・瓦・和風看板等を配し、統一的な景観を形成している。

また、市民協働による「成田祇園祭」や「太鼓祭」など多彩なイベント活動により、町並みに賑わいが再生しつつある。



▲ 成田市制施行50周年山車祭りの表参道巡業。拡幅された道路を、 電線を気にせず安全に山車が縫い歩く。



▲ セットバックが完了し、ファサードの統一と相まって、サイン(干支) と緑が1日の朝の静けさを演出。



▲電線類の地中化に伴い街路灯を低くして、より風情を増した。 茜色の空と目に優しい装飾街灯が道の拡がりとマッチしてゆったりとした空間を演出する。

所 在 地 地区面積 応 募 者 静岡県静岡市 約7.2ha 宇津ノ谷地区美しいまちづくり協議 会 静岡市



▲集落を見下ろす。



▲屋号の復元がまちなみ景観の形成に寄与している。



▲ 集落の祭りに併せて、協議会は各家の前に手作りの灯篭を吊り下げた。

<地区の概要>

宇津ノ谷地区は、静岡市の西端、旧東海道の丸子宿と岡部宿の間に位置する古くからの宿場であり、静かな山あいにある40戸ほどの集落である。

地域住民で構成する「宇津ノ谷地区美しいまちづくり協議会」 と地元の建築家、行政等の協働により、古い街道の面影・歴史的景観 を残すように、統一した材質、色調による建築物の修景を図り、調 和のとれたまちなみ景観の形成に取り組まれている。

また、朝市での地元産品の販売、七夕飾り、灯篭飾り、観光ガイドなど、地元住民や協議会による多彩な活動によって、旧東海道を歩くハイカーなどの来訪者も増加しつつある。



▲ 街路整備がなされた道と、沿道建築物(5件中4件が修景済み)のファ サード。



▲集落の祭り。



▲協議会による朝市。

美しいまちなみ優秀賞 ままずしこうなん 大洲市肱南地区

所在地 地区面積 応募者

愛媛県大洲市 約95.5ha

大洲市町並みイベント実行委員会 大洲市



▲ 市の中心部に位置し、その自然を代表する冨士山から対象地区を 望む。



保全対象地区にある金物店。明治~大正~昭和初期にかけての 最盛期をほうふつとさせる外観にあわせて看板も古めかし いデザインに変更した。



▲『ポコペン横丁』。えひめ町並博2004を機に大ブレーク。かつては、月に1度の開催 だったが、現在は春、夏、秋にかけては、毎週1回(日曜日)の開催となった官民共 同事業。奥手の倉庫も改修され、常設展示館「思ひ出倉庫」として活用されている。

<地区の概要>

肱南地区は、大洲市の中心市街地に位置し、伝統的な文化や個性を 色濃く残している。「おはなはん」の街としても有名である。

近年、大洲城天守が完全木造で復元され、また大洲城址の足元を流れる 肱川の堤防上で修景護岸事業を実施し、大洲城天守等歴史的建築物と 城壁風修景護岸との調和した美しい河川景観を創出している。ま た「おはなはん通り及び周辺地区」の町並み景観の保全も進められて いる。

まちづくりの第三セクターである「株式会社おおず街なか再生館」、 商工会議所、観光協会、地元建築士会、まちづくり活動グループの各代表 で構成される「大洲市町並みイベント実行委員会」によるイベント事



▲明治~大正~昭和の初期と木蝋、製糸、舟運に沸いた大洲の町を代表 する商業エリアがこの辺りだった。当時は、商店の2階部分も商品倉庫 であったのか、2階の窓に当時の特徴を残す古民家が見受けられる。



左の土蔵は、かつての木蝋倉庫を保全したもの。水害の歴史を物語る物件の 一つで、商品を水害から守るために、石積みの上に土蔵が建築されている。 右手の塀は、単なるブロック塀だったものを改修事業で改善したもの。



▲『おおず赤煉瓦館』。明治34年に当時の製糸業を代表する大洲商業銀 行の本館として建築されたもの。平成3年5月に市が外観を保全してリ ニューアルオープンさせ、以後観光施設として広く親しまれている。

美しいまちなみ特別賞

さいたま市北部拠点宮原地区

所在地 地区面積 応募者 埼玉県さいたま市 約31.7ha

さいたま市北部拠点宮原地区まちづくり協議

さいたま市 独立行政法人都市再生機構



▲ 北部拠点宮原地区は、さいたま市の副都心形成の先導的役割を担う 重要な地区であり、大規模工場の全面移転に伴い、職・住・学・遊などの 高次都市機能を兼ね備えた新しいまちづくりが進められた。



コミュニティー道路に隣接する都市再生機構の賃貸住宅では、 ベランダからの出入り可能となる開放的な造りとなっている。また、 各住戸のガーデニングにより歩行者に憩いと安心感を与えている。



▲ きたまちしましま公園内に設置したトイレは、軸線の融合をイメージ したランドアートであると共に、アーチ状に飛び出る水の連鎖を演 出した水の劇場に趣を与えている。

<地区の概要>

さいたま市北部拠点宮原地区は、大規模工場の移転跡地を開発した もので、さいたま市の副都心形成の先導的役割を担う地区として 位置づけられ、職・住・遊・学などの高次都市機能を備えたニュータウ ンである。

良好な都市景観の形成を目的に、事業当初の段階から地元住民 などを主体とした「まちづくり協議会」が設置され、行政・市民・企業等に よる当地区独自のデザイン調整システムによって、質の高い都市景観を 有したまちづくりが進められている。

また、市民協働によるフリーマーケットや、NPOなどによる多彩 なイベントなどが開催され、老若男女が集い、賑わいある街が形成され



▲ 民有地の壁面後退2mを地区計画で定めると共に、『きたまち景観誘 導システム』によるまちづくりビジョンの共有化により歩行空間と 緑の修景空間を民有地に確保し、潤いある歩行空間となった。



▲ きたまちしましま公園(西側)全景。富士山と筑波山をつなぐ軸線上 に当地区が位置することから2種類の芝生や石張りによるしまし まをランドスケープとしてダイナミックにデザインした。



▲ きたまちしましま公園に隣接するステラタウン(商業施設)の公開空地 にベンチ等を配置する事で、人が集い、賑わいを形成している。